

上する案が審議されたが、今年度は現状のままとし、来年度については第4回理事会で再度審議することになった。

6. パソコン通信のバージョンアップについて

利用の拡大に対応するため、バージョンアップが提案されたが開始後まだ期間が浅いので、利用状況を見てから検討することにした。

7. 外国人会員及び外国滞在会員の会費の扱いについて

会計担当・庶務担当理事案について検討が行われた。

提案の骨子は次の通り

1. 外国人会員の会費の円建て払い
  2. クレジットカードによる支払い方法の導入
- 重要なことなので更に検討を進めることになった。

8. 平成2年度の事業計画案及び予算案について

第1次案が提示された。今後、各委員会および各支部から意見を求め継続的に案を見直して行くことになった。

9. 消費税について

会計担当理事から、日本気象学会は消費税に関連する業者区分は簡易課税業者として登録することにする旨の説明があり承認された。

10. IAMAP-93日本開催決定について

理事長から IAMAP 第5回総会(レディング)において満場一致で日本開催が決定したこと、及び研究集会の状況について詳しい説明があった。(天気12月号に報告の予定)当面、学会内に準備委員会を設けて準備を始めることになった。

11. 故堀内会員の追贈寄付金の運用について

第4回理事会で審議してもらうことになった。

12. 委員の変更が次の通り承認された。

天気編集委員

新委員	中村 雅道	気象庁観測部高層課
旧委員	柴田 誠司	同 上

気象研究ノート編集委員

新委員	田畑 明	気象研究所台風研究部
-----	------	------------

旧委員	近藤 洋輝	気象研究所予報研究部
-----	-------	------------

編集後記：気象学会秋季大会も終了し、一段落というところですが、最近の学会発表におけるプレゼンテーション技術、機器の発展には目を見張るものがあります。カラー化、三次元表示は勿論のこと、観測や数値実験の結果の動画表示も比較的容易になっています。このような視覚に訴える技術は研究者に示唆や洞察を与え、場合によっては予算を獲得するための強力な武器にすらなります。一方、学生や一般人の人達にとっては、大気現象に対する関心と理解を得るために不可欠なものとなっています。

編集委員会でも来年度の企画として、天気にカラーページを新設し、数値モデルや観測結果をカラー写真でお届けしようという声が上がっています。始めは毎号というわけにはいかないと思いますが、軌道に乗れば定期的に掲載しようと考えています。とりあえずストックを集めようということで、各編集委員が近くの会員の方達に当たるということになりましたので、その節は宜しくお願いします。また、皆様からの寄稿もお待ちしております。(Y.T.)